

【庄原市】 校務DX計画

庄原市では令和4年度に校務用端末の更新に併せて校務支援システムの更改を行い、成績処理等、校務の効率化を進めてきた。

校務DXを推進するために「GIGAスクール構想下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果を踏まえ、次の取り組みを進めていく。

1. 校務系及び学習系ネットワークの統合

現在、庄原市ではネットワークを個人情報や校務処理を行う校務系と児童生徒が授業等で利用する学習系の2つに分離し、インターネット経由で校務系の情報にアクセスできない構成となっている。また、校務系ネットワークにおいては有線接続のみとなっているため職員室等限られた環境のみでの利用しかできない状況となっている。今後、校務の円滑化、効率化を進めるため、校務系と学習系のネットワーク統合を行うとともに校内の無線環境を整備することを検討する。

2. 校務支援システムのクラウド化

庄原市では、校務支援システムを導入し成績処理などの負担軽減を図っている。しかし現行のシステムはオンプレミス型（サーバー設置型）で運用を行っており、出張先など校外で校務処理が行えない課題がある。

この課題を解決するために校務支援システムのクラウド化を行い、ネットワーク統合、ネットワークの無線化と合わせてどの環境においても校務処理が行える環境を整備することを検討する。

3. 教育情報セキュリティポリシーの策定

庄原市内の小中学校では庄原市で策定している庄原市情報セキュリティ基本方針に基づき取り扱っている。校務DXを進めていくにあたりネットワーク統合や校務支援システムのクラウド化に適した教育情報セキュリティポリシーの策定を進める。また、策定後は必要に応じて随時改正を行っていく。

4. FAX利用および押印廃止の促進

庄原市の多くの学校では事業所との連絡等にFAXを活用している。また、業務において押印が必要な書類がある。FAXでの連絡などを行っている事業所等と連携しFAXの利用を行わない体制の構築を進めるとともに押印が必要な書類の内容などの見直し、押印廃止を進めていく。